

福岡大学医学部 2017年度入学試験 解答速報 英語

2017年2月2日 実施

〔I〕 かつてある祝日を、それに最も近い月曜日に移動させて3連休をつくるべきかどうかということに関して国民的議論が行われた。私は議論がなされることさえ信じられなかった。ちゃんとした休みを取ろうということに反対するなんてあり得るのかと思った。しかし、同僚に反対だと言われたことを覚えている。「2日間休むのはいいが、3日も経つといつもやっている仕事ができなくなるよ。」と彼は言ったのだ。日本では自分のやっている仕事を好きだという声は滅多に聞かない。しかし人々は長時間拘束されることに対して一種奇妙な誇りを持っているようである。彼らの言い分には、日本人はそのことを、自分たちに課されているある種の忍耐力テストとみなしているという意識がみてとれる。

〔II〕 11, 14, 16, 19

11：生まれた時代に関しては第2段落第1文から1893年前後とわかる。また第1段落第2,3文から当時のアメリカかなりの社会的不平等があったこと、及び第5文の記述から教育を受けることにも苦勞があったことがうかがえる。

12：第2段落第2文から、Coleman のシカゴでの仕事はレストラン経営と理髪店勤務であって、新聞記者ではないとわかる。

13：Coleman が渡仏したのは、第2段落最終文から第一次大戦後の1920年とわかる。

14：第3段落第2文から当時の飛行機が安全ではなかったこと、また第3文から同僚が飛行機事故で死ぬ様子を目の当たりにして衝撃を受けたということがわかる。

15：第4段落第4文に“~ the days of airline companies for passengers were still years in the future””とあり、旅客飛行自体がまだ存在していなかったため、そのパイロットになるという夢を抱くこと自体に無理がある。

16：第4段落最終文に、3000人もの観客が航空ショーに集まったとある。

17：第5段落第2文に、黒人を観衆に加えない場所でのショーを拒絶したとある。

18：第6段落第5文に、Coleman は墜落前の飛行機から落下して死亡したとあり、また第4文にそもそも操縦をしていたのはWills とある。

19：最終段落第2文に、Coleman の命日に全米から黒人パイロットが集まり彼女の墓の上空を飛行するとある。

20：最終段落第3文に Powell の言葉として、“we have overcome that which was worse than racial barriers.”、さらに続く文でその「障害」の内容が“the barriers within ourselves”と述べられていることから、最も重要な障害が「人種の壁」だったとは言えない。

- 〔III〕
- (a) 1 問題文には next year とあるので、tended to tour では過去から見た未来を表現できない。
 - (b) 2 a large battle had fought で「大きな戦いがあった」という意味にはできない。
 - (c) 4 how was the good food を how good the food was の形にしないといけない。
 - (d) 4 do problems では「問題を解く」という意味になる。
 - (e) 5 すべて適している。
 - (f) 3 it seems when I was in junior high school の形は不可。
 - (g) 1 to compare than という形は不可。
 - (h) 3 A cold winter's day is the perfect time () hot springs. の空所に動詞の原形は入らない。

- [IV] (a) 2 *interfère* [iə]と同じものは *sincérelly* 。 1. [éi] 3. [éə] 4. [é]
 (b) 3 *árchitect* [ɑ:]と同じものは *guárd* 。 1. [ó:] 2. [ó:] 4. [ó:]
 (c) 4 *fantástic* [æ]と同じものは *fáshion* 。 1. [éi] 2. [ó] 3. [éi]
 (d) 2 *exámine* [æ]と同じものは *atráctive* 。 1. [Λ] 3. [é] 4. [é]
 (e) 1 *fundaméntal* [é]と同じものは *pléasure* 。 2. [i:] 3. [Λ] 4. [í:]
 (f) 3 *préference* [é]と同じものは *bréath* 。 他は [í:]。
- [V] A. 3 5 7 6 4 2
 (The air conditioner) kept us comfortable while we worked.
 B. 6 5 2 3 4 1
 (The film is) not so much a continued story as (an entirely new story).
 C. 2 5 4 7 3 6
 How is it that the company came (to make toys, too)?
 D. 6 5 4 3 7 2
 (Most of my friends cannot even read Spanish), much less speak it with fluency.

講評：

形式：昨年と同じく大問5題。

内容：

- [1] [和訳] : 内容自体は平易だが、構造に基づいた訳出に際して、訳語の選択に難しい部分はある。
 [2] [長文] : Coleman という黒人女性パイロットの伝記。内容は昨年よりも読みやすく、設問もさほど判断に迷うことはないと思われる。易化。
 [3] [文法] : 「適していないものを選ぶ」という、以前出題されていた形式が出された。すべて適している場合もあり、しっかり勉強してきた者でないと自信をもって答えることは難しい。昨年より難化。
 [4] [発音] : 2013年度から続いているアクセントのある母音発音の異同を問う問題。標準的な単語ばかりで完答を目指したい。
 [5] [整序] : 特に解きにくい設問はない。完答を目指したい。

全体：2016年度より長文が易化、文法が難化。全体で8割5分が目標。

医歯学部進学予備校 **メビオ**

〒540-0033 大阪市中央区石町2-3-12 ベルヴォア天満橋

TEL 06-6946-0109 FAX 06-6941-9416

<http://www.mebio.co.jp/>

